

進行/再発 大腸癌

mFOLFOX6+アバスタチン療法レジメ

進行/再発 大腸癌 mFOLFOX6+avastin療法

C-04-1

< 14日間隔 >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7~14日目
治療内容								
検査	採血	○						
診療	副作用の問診	○						
	検査結果	○						
治療中止基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上	—	—	—	—	—	—	—
	①生食100ml +アロキシ0.75mg +デキサート3.3mg×2A 【30分】	↓						
	②生食100ml +アバスタチン5mg/kg 【初回90分】 【2回目60分】 【3回目以降30分】	↓						
	③ 5%ブドウ糖250mL レボホリナート (200mg/m <sup>2</sup> ) 【2時間】 ③' と同時に	↓						
	③' 5%ブドウ糖250mL エルフラット (85mg/m <sup>2</sup> ) 【2時間】 ③と同時に	↓						
	④生食50mL 5-FU (400mg/m <sup>2</sup> ) 【全開】	↓						
	⑤生食500mL 5-FU (2400mg/m <sup>2</sup> ) 【46時間】	↓						

看護のPoint!!

口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告（5-FUとの相互作用あり）

エルフラットによる過敏症症状に注意。呼吸困難感、かゆみ、発赤、皮疹など。

主治医に報告し、次回からガモファー注とボラミン注の前投与を考慮する。（ガモファー錠と材料錠でも可）  
エルフラットによって末梢神経障害が起こりやすい。まずは冷たいものの接触を避ける。

投与時間は多少前後してもいいが、エルフラットは2時間以上かければ大丈夫。アバスタチンは投与時間に注意。

ン

第15日目
○
○
○
-
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓

可能)